

群馬県農業農村振興計画2026-2030（案）概要

計画策定の基本的な考え方

位置づけ

群馬県の農業分野の最上位計画として、
農業・農村振興の基本方針を明確化するもの

計画期間 令和8年度～令和12年度

基本理念（過去の計画から継承してきた農業農村振興の理念）

- ◆魅力ある産業として発展し続ける力強い農業【農業所得の安定、担い手が活躍できる生産基盤の整備】
- ◆県民の暮らしを支える活力ある農村【農業生産の場としてだけでなく、様々な形で県民の暮らしに貢献】
- ◆安全・安心な「食」を安定供給する農業・農村【県民の豊かで安全な食生活を支える】

新・群馬県総合計画（ビジョン・基本計画）

農業分野の最上位計画

群馬県農業農村振興計画

個別基本計画

群馬県野菜振興計画、群馬県花き振興計画、
群馬県蚕糸振興計画、群馬県農業農村整備計画 等

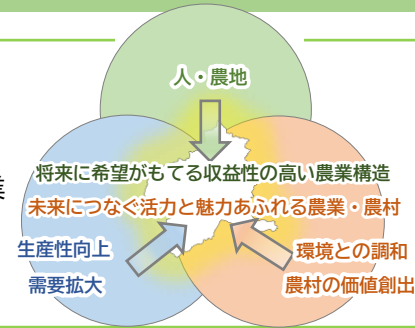
次期計画における将来ビジョン（目指すべき姿）

農業の姿

将来に希望がもてる収益性の高い農業への構造転換
現役世代がやりがいと誇りを感じられる農業
若い世代に職業として選ばれる魅力ある仕事としての農業

農村の姿

未来につなぐ活力と魅力あふれる農業・農村
地域内外の人々が集い・支える活力ある農村
多種多様な新たな農業人材が活躍する魅力ある農村



基本目標：ともに創る！自然と経済の調和のもとに成長する農業・農村

農と食に関わるすべての方の相互理解のもと、本県の農業・農村の可能性を最大限引き出し、持続的に発揮することで、県民の誰もが農業・農村の魅力と豊かさを享受できるよう、総合的な施策を展開

農業農村振興の着実な推進

農業産出額 2,361億円(R1)→ 2,655億円(R5)

農業経営体あたりの生産農業所得 479万円(R5)

農畜産物等輸出額 11.1億円(R2)→ 18.6億円(R6)

豊かな自然条件、多様な自然環境、高いアクセス性
→ 技術革新や価値創出の場として高いポテンシャル

群馬県の農業・農村が抱える課題

人 基幹的農業従事者 20年で▲60%
53,612人(H17)→ 21,313人(R7)

半数が70歳以上

農地 耕地面積 20年で▲20%
78,400ha(H17)→ 62,500ha(R7)

情勢の変化 気候変動 人口減少
国際情勢の不安定化
資材高騰 経済のグローバル化
農業生産力の維持が困難に

次期計画に向けた新たな視点・方向性

視点1 生産基盤強化と技術革新の一体的な推進
◆スマート農業技術の効果的な活用に向けた基盤整備
◆スタートアップとの協業

視点3 需要を的確に捉えた“稼ぐ”農業の展開
◆差別化による選ばれる農畜産物としての地位確立
◆複合経営による収益の安定化やリスク分散

視点5 気候変動への対応
◆高温耐性品種の導入や病害虫への対策
◆経営リスク管理への意識醸成

視点2 農業生産の維持・拡大を担う多種多様な農業人材
◆農外企業の参入促進 ◆外国人材の受入体制整備
◆農業支援サービス事業体の育成・活用

視点4 世界経済の不確実性への対策
◆輸出入の拡大・多角化
◆輸入資源から国産資源への転換

視点6 持続可能な食料システムの構築
◆生産から消費の各段階での環境意識の醸成
◆再生産・再投資が可能な価格形成

基本方針

将来に希望がもてる収益性の高い農業への構造転換

人・農地

- ◆多様な担い手の確保・育成
- ◆農地の集積・集約化、生産基盤整備
- ◆経営感覚に優れた農業経営体の育成
- ◆農地・農業水利施設の保全管理

生産性向上

- ◆園芸産地の競争力強化
- ◆強靱な畜産経営の確立
- ◆持続可能な水田農業の展開
- ◆スマート農業の推進、気候変動対策

需要拡大

- ◆「強み」を生かした魅力発信
- ◆農畜産物等の輸出促進
- ◆地産地消推進、愛着醸成
- ◆安全・安心な農畜産物の提供

環境との調和

- ◆環境負荷低減・資源循環型農業の推進
- ◆有機農産物への理解促進・販路拡大
- ◆多面的機能の維持・発揮
- ◆効果的な鳥獣被害対策の推進

農村の価値創出

- ◆多彩な地域特産物の生産振興
- ◆関係人口の拡大・深化（移住、都市農村交流）
- ◆食と農への理解醸成
- ◆農村の防災・減災対策

未来につなぐ活力と魅力あふれる農業・農村

持続可能な農業構造の再構築

群馬県農業農村振興計画2026-2030（案）「総合指標」

総合指標

1 農業経営体あたりの

生産農業所得※ **479万円 → 780万円**

（農業産出額 2,655億円

3,000億円）

（農業経営体数 18,800経営体

13,000経営体）

※生産農業所得：農業生産から生み出された付加価値を表す指標。農産物の産出額から経費を差し引いたもの

R5

R12

参考

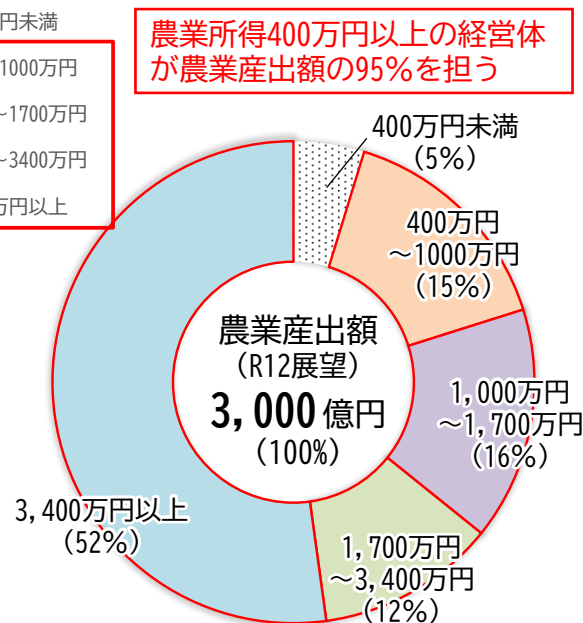
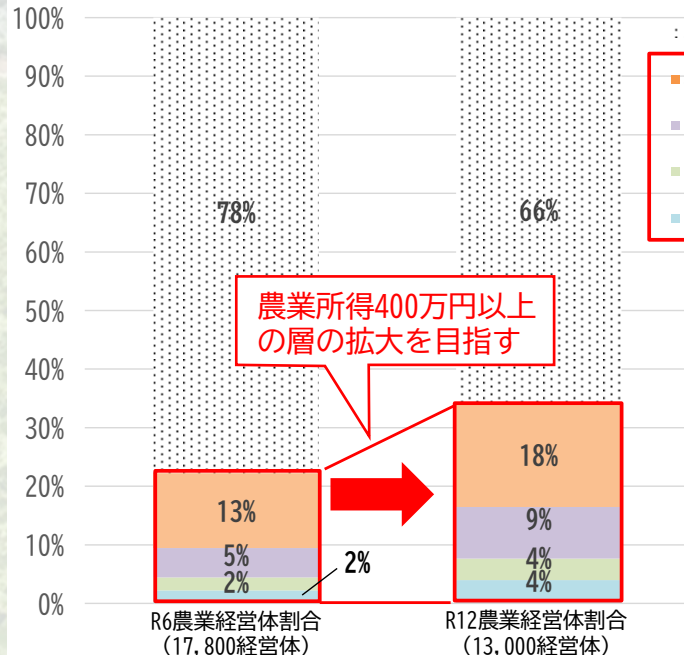
1 農業就業者※あたりの生産農業所得
267万円(R5) → 420万円(R12)

※農業就業者：以下の合計とする	(R5)	(R12)
①個人経営体の経営者+世帯員	26,200人	→ 15,000人
②団体経営体の役員・構成員	3,300人	→ 4,600人
③常雇い雇用者	4,200人	→ 4,600人
合計	33,700人	→ 24,200人

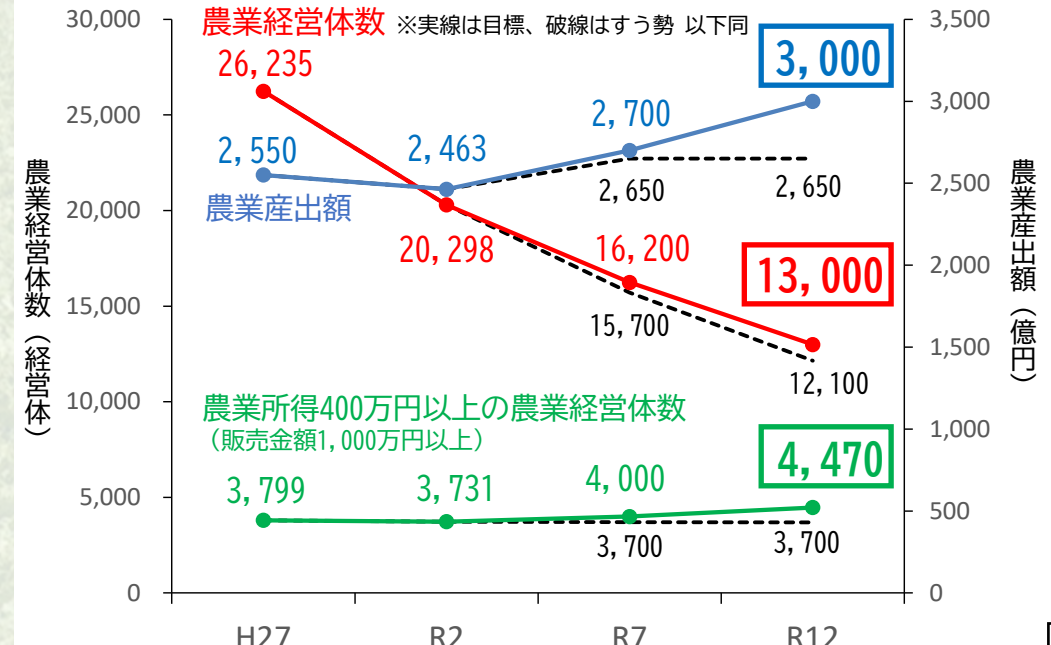
所得の向上を図り、次代の担い手に選ばれる群馬県農業を目指す

■ 所得階層別の経営体割合(R12展望)

■ 農業産出額3,000億円を担う
各所得階層別の産出額の割合(R12展望)



■ 農業経営体数と農業産出額の推移



※各階層の農業所得は、農業構造動態調査の販売金額の階層に生産農業所得統計(R5)の所得率(33.9%)を乗じたもの

■農林業センサス、農業構造動態調査、生産農業所得統計（ともに農林水産省）から推計

将来に希望がもてる 収益性の高い農業への構造転換

施策の柱 Ⅰ 人・農地

多様な担い手の確保・経営基盤の強化

- ① 多様な担い手の確保・育成
- ② 次代を担う経営感覚に優れた農業経営体の育成
- ③ 地域計画に基づく農地利用の最適化と
農業生産基盤整備の推進
- ④ 農地・農業水利施設等の適切な保全管理の推進



就農相談会



農業への企業参入促進



水田の区画拡大・畑地化



施策の柱 Ⅱ 生産性向上

技術革新で切り拓く新たな群馬県農業

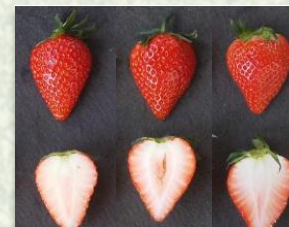
- ⑤ 新たな需要を捉えた競争力のある園芸産地の育成
- ⑥ 国際競争に打ち勝つ強靱な畜産経営の確立
- ⑦ 地域の特性を生かした持続的な水田農業の展開
- ⑧ 気候変動や技術革新を見据えた新たな農業モデルの構築



スマート農業技術の導入



スタートアップとの協働
(先進技術の実証)



いちご新品种
群馬I-RG1(左), 群馬I-RG3(中), やよいひめ(右)



GAP認証取得支援

施策の柱 Ⅲ 需要拡大

需要を的確に捉えた 選ばれる農畜産物としての地位確立

- ⑨ 県産農畜産物の「強み」を生かした魅力発信
- ⑩ 世界で戦える農業者の育成を通じた
農畜産物の輸出促進
- ⑪ 地産地消の推進による域内経済循環の活性化と
県産農畜産物への愛着醸成
- ⑫ 安全確保策に基づく安全・安心な農畜産物の提供



成分分析結果に基づくPR



海外での現地PR販売

未来につなぐ

活力と魅力あふれる農業・農村

施策の柱 Ⅳ

環境との調和

環境と調和した農業・農村の持続的発展

- ⑬ 環境負荷低減・資源循環型農業の推進
- ⑭ 有機農産物への理解促進と販路拡大
- ⑮ 農村の多面的機能の維持・発揮に向けた支援
- ⑯ 官民共創による効果的な鳥獣被害対策の推進



耕畜連携の推進



地域住民等による水路の保全



オーガニックマルシェ



地域ぐるみの鳥獣被害対策

施策の柱 Ⅴ

農村の価値創出

多様な地域資源を活用した農村の活性化

- ⑰ 多彩な地域特産物の生産振興
- ⑱ 関係人口の拡大・深化や共同活動による農村の活性化
- ⑲ 食と農への理解醸成
- ⑳ 農業・農村の持続的な発展に向けた防災・減災対策



新たな養蚕の担い手育成
(養蚕学校)



農泊・農業体験



学生を対象とした都市農村交流



防災重点農業用ため池の耐震補強

農業従事者や耕地が減少する中で
持続可能な群馬県農業を実現する総合的施策を展開

主な目標指標（基準値(R6)※一部R5実績値→目標値(R12)）※★は新規

Ⅰ 多様な担い手の確保・経営基盤の強化

- ・新規就農者数（65歳以下） 年間240人を確保
- ・生産基盤整備を契機に担い手へ集積する農地面積
505ha → 600ha

Ⅱ 技術革新で切り拓く新たな群馬県農業

- ・直播等省力栽培による水稻作付面積★
122ha → 500ha
- ・スタートアップとの連携による実証事業実施件数(累計)★
18件 → 54件

Ⅲ 需要を的確に捉えた選ばれる農畜産物としての地位確立

- ・Gアナライズ&PRチームによる発表品目数(累計)
9品目 → 15品目
- ・県産農畜産物等の輸出金額
185,767万円 → 226,300万円

Ⅳ 環境と調和した農業・農村の持続的発展

- ・有機JAS認証取得者数★ 80者 → 120者
- ・野生鳥獣による農作物被害額
34,309万円 → 17,400万円

Ⅴ 多様な地域資源を活用した農村の活性化

- ・薬用作物トウキの生産量★ 127トン → 170トン
- ・優先度の高い防災重点農業用ため池における防災工事に着手したため池数
34箇所 → 75箇所

群馬県農業農村振興計画2026-2030（案）「地域農業の振興方向」

中部農業事務所

◎地域農業の特色

◆集落営農組織による**米麦二毛作**

◆豊かな自然に育まれた**畜産経営**

◆豊富な日照と水資源を生かした

多彩な露地・施設園芸



農業用ドローンの活用

◎地域プロジェクト

麦産地としての強みを生かした水田農業の活性化

スマート農業技術の導入や農地の集積により集落営農組織の経営力を強化し、水田農業の活性化を図る。

主な目標指標：集落営農組織におけるスマート農業技術の導入率 31%(R6)→40%(R12)

安定的・持続的な畜産経営の実現による畜産産地の維持発展

耕畜連携による地域循環型農業の拡大と、生産基盤及び家畜防疫体制の整備により、持続可能な畜産産地の維持・発展を図る。

社会ニーズに対応した選ばれる園芸産地の育成

選果施設の運用による生産性の向上と、環境に配慮した取組の見える化により、消費者に選ばれる園芸産地を育成する。

利根沼田農業事務所

◎地域農業の特色

◆夏季の冷涼な気候を生かした

大規模複合野菜生産

◆良食味米をはじめとした

高付加価値な農産物の生産



GAP認証農場のレタス畑

◎地域プロジェクト

野菜生産でのスマート農業及びGAP導入による生産性向上

AIを活用したスマート農業や、GAPの導入により生産性の向上を図る。

主な目標指標：スマート農業技術の導入

5種類(R6)→10種類(R12)

オーガニックビレッジを核とした資源循環型農業の推進

管内市町村と連携して、資源循環型農業への農業者や消費者の理解醸成を図る。

西部農業事務所

◎地域農業の特色

◆基盤整備された広大な畑地での

土地利用型農業

◆県果樹産出額の4割を占める

多彩な果樹生産



整備された松義台地

◎地域プロジェクト

松義台地(まつぎだいち)・横野平(よこのだいら)の畑作振興

こんにゃくいもの低コスト栽培技術の普及や複合作物の導入、農地集積により、持続可能な畑作経営を推進する。

主な目標指標：こんにゃくいもの複合作物の新規導入面積 0.5ha(R6)→12.5ha(R12)

松義台地(まつぎだいち)・・・安中市松井田町と富岡市妙義町にまたがる畑地帯

多角的な支援による果樹産地の活性化

担い手の確保・育成や果樹園の改植・新植の推進、大学や商工業者と連携した認知度向上の取組により、地域農業の活性化を図る。

東部農業事務所

◎地域農業の特色

◆県内の水田面積の4割を占める

水田地帯

◆米麦、畜産、花き、果樹など

多彩な農業



水田農業の生産性向上

◎地域プロジェクト

水田施策の見直しに伴う水田・畑作の生産性向上

農地の区画拡大やスマート技術の導入、企業参入の促進により水田農業の生産性を高め、収益力の向上を図る。

主な目標指標：水稻高温耐性品種作付面積

642ha(R6)→900ha(R12)

地域資源を生かした中山間地域の振興

酒米等の新規品目による遊休農地の発生防止や、野生鳥獣による農作物被害対策により、中山間地域の活性化を図る。

吾妻農業事務所

◎地域農業の特色

◆稲作と野菜、花き等を組み合わせた

多角的農業

◆孺恋高原キャベツに代表される

全国トップクラスの**高原野菜産地**



吾妻西部地域のキャベツ畑

◎地域プロジェクト

あがつま農業リデザイン計画：人材確保と地域価値の再創造

新規就農者の受入体制の整備、中心経営体の活動への支援、農業水利施設の保全対策により持続可能な地域農業を構築する。

主な目標指標：受入協議会の活動による新規就農者数(累計) 17人(R6)→24人(R12)

吾妻西部地域の大規模産地の産地力 ステップアップ

スマート農業技術の導入やスタートアップとの連携により、生産性向上と環境負荷低減を図る。

地域農業の特色や課題に合わせた

地域プロジェクトを設定